

人文学研究科海港都市研究センター 第1回海港都市研究会のお知らせ

文責：人文学研究科 藤田裕嗣（地理学教育研究分野）



若き日の柳宗悦（バーナード・リーチ作、

提供：我孫子市教育委員会）

高崎 哲郎「真理と美を愛する精神

～民芸運動の父・柳宗悦～

民衆工芸の美を追求した<知の巨人>より

<http://www.risktaisaku.com/articles/-/4459>



台北市・国立台湾大学の正門からみた地下鉄「公館」駅前の風景

（2011年6月11日、藤田裕嗣撮影）

〔日時〕 2019年1月28日(月) 17:00～18:30

〔会場〕 A棟2階 共同談話室 (A221)

張 修慎（中華民国・静宜大学・教授）

「戦時下台湾における『郷土意識』と柳宗悦の『民芸思想』」

☆文部科学省補助事業の援助を受け、張教授をお呼びして、ご講演をお願いしました。柳宗悦(1889～1961)は、宗教哲学者、思想家、美学者、文学者そして何よりも「民芸運動の父」であり、戦時下では日本の「植民地」ともされた台湾の文学や民俗（学）などに見える「郷土意識」について、彼との関係で問題にされます。柳の運動を陶芸で支えたのは、左上のスケッチの作者、バーナード・リーチ以外に、日本人では濱田庄司が代表的です。その孫に当たる濱田琢司・南山大学教授に、文化地理学の立場からコメントも頂戴します。

※院生諸君や研究員の皆さんを含め、人文学研究科構成員のみならず、神戸大学教員の皆さんの積極的なご参加を歓迎します。

※本事業の精神に基づき、特に女性研究者・女性教員のご参加を歓迎します。